



# Weekly 第45号

## 個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース(ダイジェスト版)をお届けします。今週号は平成30年2月12日(月)～2月18日(月)までのニュースです。前号(第44号)で掲載できないニュースを追補しました。詳細は厚生労働省のHP等で確認してください。

### ■夜勤の報酬引き上げなどを要求 医労連(2月9日)

日本医療労働組合連合会は介護施設の夜勤に関する調査結果を公表した。長時間労働になりがちな2交代制を導入している施設が全体の92.5%を占めた。介護職員の夜勤回数が月平均4.3回に達し、ユニットやフロアで1人夜勤が容認されていることについて「健康リスクが高く、人員配置基準の再考や夜勤の介護報酬の引き上げが必要だ」と指摘。

### ■厚労省ICT推進本部スタート(2月13日)

厚労省はICTを有効活用するため省内に推進本部を立ち上げた。若手の推進チームが活用の具体策などを年内に取りまとめる。

### ■社会福祉法人の指導監査改正でパブコメ募集(2月13日)

厚労省は社会福祉法人に対する「指導監査ガイドライン」を一部改正するに伴い、意見募集を始めた。主な改正点は「(地方自治体の)監査担当者は法令または通知の根拠なく主観的な判断で指摘しないこと」「役員などの報酬が無報酬の場合、役員報酬基準の指導方針を明示すること」「社会福祉法人による地域における公益的な取組推進について改正に伴って見直すこと」など。締め切りは3月14日(水)。

### ■新「高齢社会対策大綱」閣議決定(2月13日)

政府は新しい高齢社会対策大綱を閣議決定した。年齢によらず意欲や能力に応じて働ける「エイジレス社会」の実現を目指す。数値目標は①60～65歳の就業率67%(目標・平成32年)にする②健康寿命を男性71歳、女性74歳からそれぞれ2歳以上伸ばす(37年)③介護離職10万人をゼロにする(32年代初頭)④ロボット介護機器の市場規模24億円から500億円へ拡大する(32年)一など。対策として定年延長や65歳以降の雇用確保、70歳を超えてから公的年金を受給することを選択肢の1つとする、介護職員を約50万人増やす一などを盛り込んだ。

### ■新カリキュラム案などを承認 推進協研修会議(2月16日)

推進協は29年度ユニットケア研修推進事業合同会議を開き、①ユニットリーダー研修実地研修施設の選定結果(新規合格1施設、更新2施設)②新カリキュラムに伴う研修の変更(研修日数、受講料改定など)及び30年度研修スケジュール③研修辞退の取り扱い一の3議案を了承した＝討議内容は「推進協ニュース」3月号で掲載します。